

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年5月2日 NO.4



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

◇全校集会:校長の話◇5/1(月)

「**ひまわり憲法**」の**ひ**「一人一人が元気に挨拶」と**り**「理想におかっががんばる子」について話をしました。5月1日は校長の誕生日でした。子どもたちから「おめでとう」という声もあり、大変うれしかったです。ありがとうございます。

さて、内容は**将棋の棋士：藤井聡太さん**の話をプレゼンで紹介しました。

史上最年少の14歳2か月でプロ入りして以来、まさに最年少記録を塗り替え続けている藤井聡太さん。現在将棋界の**トップ棋士**である。将棋界には8つのタイトルがあります。現在6つタイトルを保持していて、7つ目に挑戦中です。1年間でプロ棋士になれるのはたった4人しかいません。大変厳しい世界にいて大活躍できるのはなぜでしょう。



藤井聡太六冠の歩み

2002年	愛知県瀬戸市出身	14歳2か月でプロ 前人未だの「29連勝」 20歳8か月で六冠達成 将棋界のトップ 現在「名人戦」挑戦中
12	棋士養成機関「奨励会」に入会	
16	史上最年少の14歳2か月でプロ入り	
20	最年少17歳11か月で初タイトルの棋聖、王位も	
21	叡王、竜王獲得	
22	王将獲得	
23	棋王獲得	

初めから強い棋士だったのでしょうか。違います。幼いころの藤井さんは対局で負けると将棋盤にしがみつき、大泣きしたそうです。負けたら将棋盤にしがみついて、その場から離れなかったそうです。負けず嫌いだったのですね。



負けた⇒もうやめた×

⇒リセット

⇒さあ、**もう一回やるぞ!!**

藤井さんも負けたからといって、そこであきらめるのではなく、泣くことで悔しさを発散させて気分をリセットし、また、気持ちを立て直して、次の対局に臨みました。この挫折→浄化（リセット）→再起を何度も繰り返し経験したことが、藤井さんが短期間で強くなった秘訣の1つだと師匠杉本昌隆さんは述べています。粟ノ保っ子も**り**「理想におかっががんばる子」になり、「目標を持ってほしい」ですね。夢を持ち、可能性に向かい「負けん気で」とへこたれない闘志を持ちたいですね。最後にことわざを紹介して終わりました。

・三度目の正直 ・七転び八起き ・千里の道も一歩から

裏面あります

◇1年生を迎える会・全校ゲーム・ひまわりランチ◇5/1(月)

「1年生を迎える会」を行いました。自己紹介を一人一人行い、かわいい決めポーズも披露してくれました。全校ゲーム、校内ウォークラリー、記念撮影もしました。



◇学校研究スタート◇5/1(月)

6 限目、算数、4年生教室。松田先生が、算数の提案授業をしました。先日の「学校説明会」でも示したとおり、学力の定着に努めます。それには、まず授業です。「個別最適の学び」と「協働的な学び」をどう進めていくのか研究のテーマです。全職員が共通の授業のスタイルで進めます。



◇ゴールデンウィーク：緊急連絡について◇

明日から5連休。ゴールデンウィーク期間中は、県内外の人の移動、飲食の機会の増加など想定できます。油断することなくコロナ感染防止の徹底及び子どもたちの交通事故防止（交通安全）に注意をお願いします。5月8日（月）元気に登校しましょう。